

# せんだん

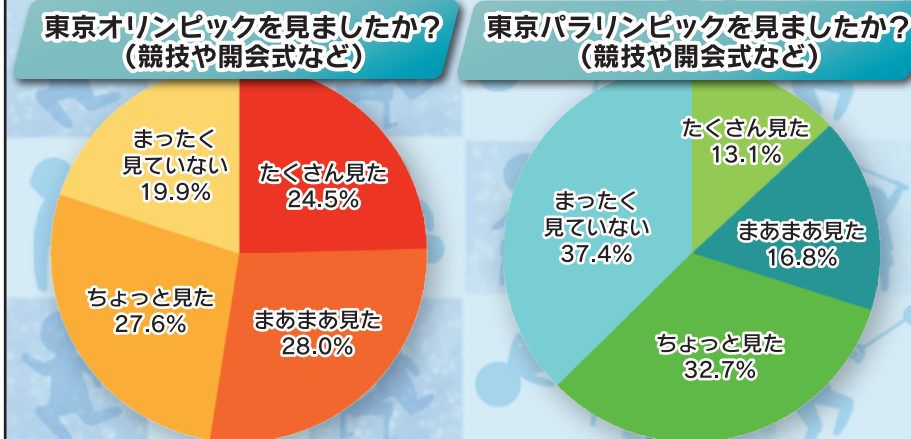


行事のお知らせや学年通信なども閲覧できます！ホームページぜひチェックしてみてください！

発行所 東広島市立中黒瀬小学校 PTA 広報部  
〒739-2613 東広島市黒瀬町植原 10018-1  
TEL (0823) 82-2024

## TOKYO2020! オリンピック・パラリンピックについて聞いてみた

新型コロナウイルス感染症の影響で延期し、2021年7月に開催された東京オリンピック・パラリンピック。夏季オリンピックとしては57年ぶりの自国開催となる大会でしたが、児童たちの目にはどのように映ったのでしょうか？ 全児童を対象にアンケートで聞いてみました！



**児童が挙げた選手の名前ランキング**

1位	阿部 詩 選手
2位	阿部 一二三 選手
3位	水谷 隼 選手
4位	伊藤 美誠 選手
5位	ウルフ・アロン 選手

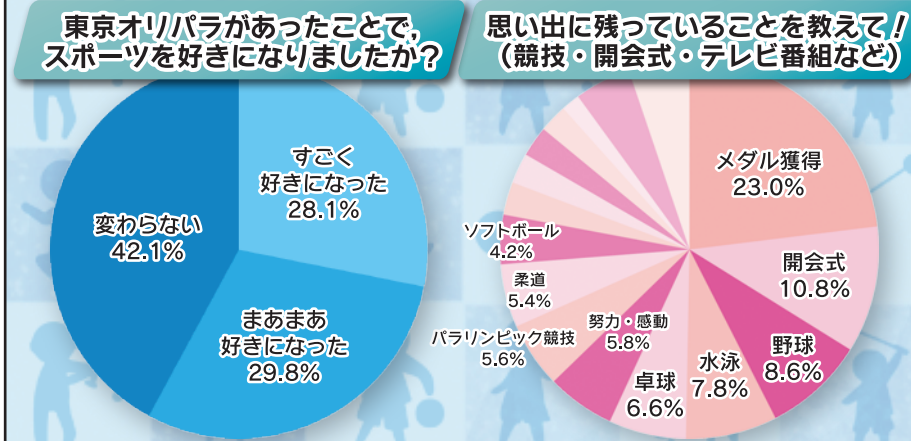
**開会式で印象に残った演出ランキング**

1位	ゲーム音楽
2位	人間ピクトグラム
3位	歌(国歌含む)

### 児童の「思い出に残っていること」コメントの一部を紹介！

- お父さんがチケットを当てていて、見に行けると思ったのに無観客だったのが残念だった。
- 色々な人が嬉しい涙、悲しい涙を流している、泣けるくらい頑張ったんだなと思いました。
- 今のようにコロナが広がっている中で、たくさん選手が頑張っている姿を見て、勇気をもらった。
- テニスで障がいのある人が頑張っていて、それくらいテニスを愛しているんだなと思いました。素敵でした！
- 侍ジャパンが金メダルを取ったことと、そのあと菊地選手がメダルを監督にあげたことです。
- ポッチャの試合で選手の隣にいる人など、たくさん人の協力があって感動しました。
- スケボーで日本の選手がこけたときに、みんなで励ましたこと。
- 柔道のウルフ・アロン選手が豪快な一本をとっていたこと。

「思い出に残っていること」欄では、同じ学年の中で同じ競技の名前が挙がりやすい傾向が見られました。友達や先生と、その競技の話題で盛り上がったのではないのでしょうか。子供たちがスポーツに興味を持ってくれて嬉しいですね！



## 第75回 中黒瀬小学校 大運動会

9月17日、子供たちも楽しみにしていた本番当日。コロナ禍で迎えた、2年ぶりの運動会です。今回は感染拡大防止のため無観客での開催でしたが、保護者としては、子供たちの頑張っている姿を一目見たい……そう思っていたところ、なんとDVDという形で見られることになりました。DVDを視聴しながら子供に運動会の様子を聞き、家庭でも楽しい時間を作ることができました。



6年生による選手宣誓。ハキハキかっこいい！

映像の中の子供たちは笑顔いっぱい、しっかりと自分の力を発揮し、そして互いの力を合わせてプログラムに取り組んでいました。子供たちの成長した姿を見ることができて、とても嬉しく思います。また、例年とは一味違った演出も多くありました。万国旗のように風にはためく、色とりどりの児童たちの自画像。さらにオリンピックイヤーということもあり、黒瀬屋内プール下の斜面の看板には大きなピクトグラムが掲示され、運動場はとても賑やかで明るい雰囲気でした。

密を避けるためのプログラム構成や、開会式・閉会式のリモート参加など、あらゆる感染予防対策が講じられた今回の運動会。準備から当日の進行まで心砕ってくださった先生方に、本当に心より感謝いたします。

来年も運動会が無事に開かれ、また一日も早くコロナが終息し、保護者が応援できる日常が戻ることを切に願っています。



これはチームワークが物を言いますよ〜！



ピタリと揃った動きと角度、とびきり素敵です！

## 行けてよかった！修学旅行

「私は今回の修学旅行を、「奇跡の修学旅行」と呼びたい」

修学旅行の解散式で、引率の教頭先生からそんな言葉が飛び出しました。なんとも壮大なフレーズですが、一体何が奇跡だったのでしょうか？ 教頭先生によると、今回の修学旅行では児童たちの遅刻が一度もなく、さらには誰一人として怪我もせず、絆創膏を1枚も使用しなかったのだそうです。こんな修学旅行は滅多にない、6年生たちは本当に素晴らしい！と大絶賛でした。6年生の皆さんが意識して行動した成果ですね！



夕食ははやくのお刺身も出ました！豪華ー！

旅行の日程は12月10日からの1泊2日、行き先は昨年同様山口県。松村村塾と松陰神社では歴史を学び、秋吉台と秋芳洞では太古のロマンを体感、海響館とサファリランドでは生き物に癒され、萩焼の絵付け体験では思い出に残るオリジナルの湯呑を製作しました。

また、子供たちだけのグループ行動、公共の場でのマナー、限られたおこづかいでの計画的な買い物などは、社会勉強にもなりました。もちろん、ホテルの部屋やお風呂で友達と過ごす時間も、みんなで食べる食事の時も、楽しいひとときだったことでしょう。

サファリではジェットコースターも楽しめました！

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、5月、8月、次は12月…と、2度の延期に見舞われた修学旅行。どうなることかと思いましたが、無事に実施でき、何より無事に帰って来られて、本当に良かったですね！ 持ち帰ったお土産とともに、一生の思い出として、大事にしてほしいと思います。

湯呑ははやくのお刺身も出ました！豪華ー！

## 今年も開催！ 中小スポーツフェスティバル！

10月23日、気持ちの良い青空の下で、今年も「トップアスリートに学ぼう」が開催されました。今回学ぶのは、陸上、フットサル、ダンスです！

陸上を指導してくださったのは、広島経済大学陸上競技部の皆さん。「手はたまごを持つように軽く握る」「足をついたらすぐにもう片方の足を出すイメージ」など、児童にも実践しやすいコツを教えてください、鬼ごっこや色んな姿勢から行うダッシュで楽しく体を動かしました。児童からの質問タイムも設けられ、「いつから陸上を始めたか」「目標を達成するためにしていることはあるか」など、興味深い話を聞きました。

一回りジャンプ！からのスタートダッシュ！



倍以上の人数差があっても、選手たちは強い…！

フットサルの部では、日本フットサルリーグで戦うプロチーム、広島F・DO(エフ・ドゥ)の選手の方々に指導していただきました。フットサルはコートが狭く細かいボールさばきが重要になるため、ボールは足の裏で受けるなど、サッカーとは異なるテクニックが必要だと教わりました。児童対選手の模擬試合では、選手たちがコート上で寝転がるなど面白いハプニングが飛び出し、児童たちは大爆笑。大いに盛り上がりました。

ダンスは1~3年生の各教室で行われ、広島大学リズムダンスクラブの皆さんが、わかりやすい振り付けで優しく教えてくれました。主将の山本さんによると、「ダンスは上手にやろうとするよりも、楽しむことが大切!!」とのこと、その言葉通り楽しんでダンスを学びました。かっこいい音楽のリズムに乗せて体を動かすと、確かにそれだけでも楽しいですね！ラストの決めポーズがピシッと合うと、気持ちいい〜！

BTSの「Permission to Dance」を習いました！

## 2008五輪・マラソン日本代表！ 尾方監督にインタビュー！

尾方 剛 (おがた つよし)  
広島県安芸郡熊野町出身、中学生から陸上を始める。長距離走・マラソン元選手、現指導者。広島経済大学准教授(スポーツ経営学科)、陸上競技部監督。  
＜主な実績＞  
2004年 福岡国際マラソン(優勝)  
2005年 世界陸上ヘルシンキ大会(銅メダル)  
2007年 世界陸上大阪大会(5位入賞)  
2008年 北京オリンピック(13位)

—小学生のときに好きだった遊びは何ですか？  
秘密基地作りですかね。山に行くと基地を作ったり、稲刈りが終わった田んぼで家みたいなのを建てたり。川に行ったりもしましたし、そういう昔の遊び、自然の遊びをしていました。

—小学生のときに好きだったマンガやキャラクターはありますか？  
僕らの世代はキン肉マンとか。本も集めていました。多分もう全部捨てられてますけど(笑) ウォーズマンとかロビンマスクが人気だったので、真似して絵を描いたりもしていました。

—陸上をしていて、一番つまらなかったことは何ですか？  
精神的につらかったのは大学のときで、全身脱毛症になったんです。あれがやっぱり一番しんどかったですね。

—全身脱毛症！原因は何だったのでしょうか…  
結局まあストレスなんですかね。他人が期待してる、っていうプレッシャーが原因だと思うんですけど。人は他人のことなんてそんなに気にしないものなのに、自分が期待されてるっていうふうには思い過ぎている。まだ若かったですね。20とか21だったんで、つまらなかったです。それも今は「いい思い出」として話ができるんですけど。こうやってネタにして話せました(笑)

—では逆に、陸上をしていて、一番うれしかったことは何ですか？  
うーん、なんですかね。陸上をやることによって、海外など色々な所へ行けたっていうのもありますし…あとは、やっぱり走ることで、自分を表現できる唯一の手段だと思ってたので、それを思うように発揮できたっていう点では良かったかなと。メダル取ったりとか優勝したりっていう、結果に繋がったことももちろんあるんですけど。

—自分を表現する手段なんですね。  
わかりやすく言えば、結果が出たら周りも評価してくれるっていうのもありますし。自分自身も、やってきたことが報われるっていう瞬間だったんです。

丁寧に親切に答えてくださった尾方さん、本当にありがとうございました！

## 学習発表会 感動を届けよう！ ~輝け533の絆~

昨年は中止となり参観日での発表となった学習発表会でしたが、今年は感染予防対策を講じながら無事に開催されました。運動会同様DVDも販売され、保護者席からでは撮影できない画角の映像も思い出として残せることになりました。ここからは、様々なアイデアと工夫をこらした各学年の発表の様子をご紹介します！

**1年生「ふくろうのぞめものやさん」**  
カラスの色はなぜ黒いのか？という日本の民話を題材にした、セリフと歌による発表です。1年生にとっては初めての学習発表会でしたが、そうとは思えないほどの落ち着いた姿。一人一人が短いセリフの中にも感情豊かに動きや抑揚を取り入れていました。

**2年生「四季のメッセージ」**  
四季の移り変わりを歌やダンス、合奏などで元気いっぱいに表現。夏の場面では児童が考えたユニークな「びっぐり野菜」のイラストを投影しながら紹介したり、秋の場面では虫に扮した児童が登場しカッコいい異名を名付けたり、ぐすっと笑えるかわいいコーナーもありました。

**3年生「メバルンと3年生たちの物語」**  
めいっぱい体を動かして、はつぐんの集中力で、るんるんいつも仲良し！3年生のヒーローであるオリジナルキャラクター「メバルン」と一緒に、遠足、社会科オンライン授業、地域の方との防災教室で学習した内容を、映像も交えながら楽しく紹介してくれました。

**4年生「MIX〜キラキラ輝く未来へ〜」**  
合奏「情熱大陸」は難易度の高い楽曲でしたが、しっかり丁寧に、そしてかっこよく演奏。カラーガードの演出も光りました。次曲「なないろ」では、歌いながら転換を行い合奏に移行するなど、無駄のない構成アイデアも。合唱「カイト」は優しい歌声で、柔らかな雰囲気にも包まれました。

**5年生「ONE TEAMで響かせよう」**  
合唱「地球星歌」の澄んだ歌声と美しいハーモニーが素晴らしく、愛と平和の祈りを感じられました。「生き物地球紀行」のオープニングテーマ、ライオン・キングのメドレーも、雄大な自然を思い起こします。この星に生きるすべての命、それがONE TEAMなんですね。

**6年生「NAKASHO2021〜六年魂〜」**  
「ロトのテーマ」に基いてマンガ風のイラストが登場するなど、オリンピックの開会式をイメージした要素が盛りだくさん。マリオメドレーでは手作りの土管やハテナブロックなどが目にも楽しく、児童たちが作成したプログラミングの映像も投影。「百花繚乱」は一転して大迫力でした。

**編集後記**  
今年度もコロナ禍でのPTA活動となりましたが、無事に「せんだん」を発行することができました。ご協力いただいたすべての皆さまに、心から感謝申し上げます。今回は自国開催の特別なオリンピックイヤー！ということで、将来読み返したときに懐かしさを感じられる新聞になったように思います。開会式の入場曲でゲーム音楽が使用され、6年生も演奏したこと、裏面の卒業記事はドラゴン王風というテーマで制作しました。ちなみに背景で使用しているドット絵のマップは、小学校周辺の地図になっているんですよ！右のQRコードからマップだけの画像を見られるので、ぜひ見てみてください！ (PTA 広報部)

